

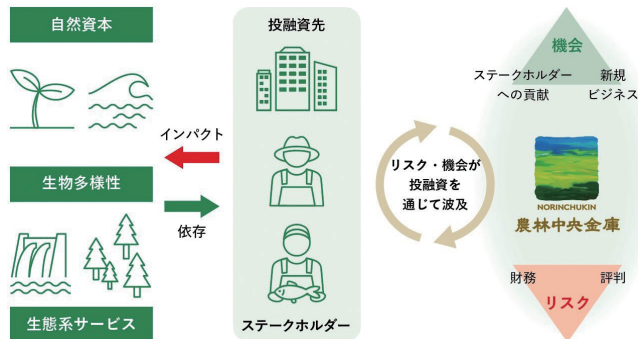


## 《将来に向けた取組方針》

当金庫は「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパスとして掲げています。自然資本・生物多様性への依存とインパクトの状況、またそれらがリスク・機会として当金庫に波及することを十分認識したうえで、ステークホルダーのみなさまとともに、ネイチャーポジティブ実現に向けた取組みを進めてまいります。また、「投融資における環境・社会への配慮にかかる取組方針」において、生物多様性の観点で留意を要する事業への投融資の禁止・制限を定めるなど、投融資活動における負の影響回避に取り組みます。

### 自然資本・生物多様性と当金庫の関係性

投融資先による自然資本・生物多様性への依存とインパクトが、リスク・機会として当金庫に波及



出所 Natural Capital Protocolなどを参考に当金庫作成

### 自然の保全・回復に向けた取組み

#### 投融資を通じた生物多様性への貢献

例) 世界銀行が「生物多様性の保全の啓発」を目的に発行した債券に総額300百万豪ドルを投資

#### 国内金融機関とのアライアンス

金融機関として投融資先企業におけるネイチャーポジティブ転換を促進、支援することを目的とし、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社、株式会社日本政策投資銀行および農林中央金庫にて「Finance Alliance for Nature Positive Solutions」(略称：FANPS)を発足

#### グローバルな開示枠組み開発への貢献

TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures) タスクフォース・メンバーとしてTNFD フレームワークの開発に貢献